

# 車いすバスケの懸け橋に

【函館】函館高専2年の岩田晋作さん(17)は、小学5年のころから車いすバスケットボールに取り組んでいる。足に持病を抱え、大好きだった野球に区切りをつければ、パラ競技の世界に飛び込んだ。障害は認定されておらず、日常生活でも車いすは必要ないが、車いすバスケの国内大会には参加可能だ。パラリンピックへの道は閉ざされているものの「車いすバスケがスポーツの楽しさを教えてくれた」とコートで駆け回っている。(宇野昌)

## 足に持病 函高専生・岩田さん

岩田さんは「先天性内反足」と呼ばれる、両足が内側に強く反り返った状態で生まれた。生後4日から手術を受けた。その後、車いすを使わずに生活し、小学校では野球も始めた。

ただ、小らの時に所属していた野球チームの走り込みで、左足に激痛が走った。以降、体重をかけるたびにアキレス腱が腫れるようになった。内反足の後遺症とみられるが、詳しい理由は分らず、「投手として申

子國のマウンドに立ちたい」という夢は諦めざるを得なかった。「足に負担が少ない形で本気で体を動かせる競技を」と、母の智子さん(46)が見つけたのが車いすバスケだった。地元函館で唯一のチーム「ハタチエ函館元町ライオンズWBC」に加入した。

### ■チームの主力に

岩田さんは当初、障害がない立場で車いすバスケに取り組むことに抵抗があった。しかし、見学に行くと

巧みな車いすまはぎで、自由自在にコートを疾走する選手を「かっこいい」と感じた。社会人を通じて練習し、チームの主力に成長した。智子さんは「夢を受け入れてもらえたことが何よりうれしかった」と感謝する。

車いすバスケは下肢に「筋力低下」などの障害がある人を対象としている。ただ、国内大会は、競技人口を少しでも増やしたい日本車いすバスケットボール連盟の方針から垣根は低



車いすからシュートを放つ岩田晋作さん。「本能で動く毎瞬間に出会えた」(中本頼撮影)

## 国際大会は出場資格なし「スポーツの楽しさを教えてくれた」

く、岩田さんのような障害がない人も参加できる。

### ■厳しい資格審査

これに対し、国際大会の資格審査は国内よりも厳しいため、該当する障害がない場合は出場できない。実際、岩田さんも、実力が認められながら、国際大会を目指す育成年代の有力選手を輩出した各都府県の参加を断られたことがあった。岩田さんは「どんなに頑張っても世界の舞台には立てないのか」と複雑な思いで受け止める。

東京パラリンピックでは男子車いすバスケ日本代表が銀メダルを獲得。テレビ観戦した岩田さんは「いつかあの舞台に自分も立つて

みたい」という気持ちでいっぱいになったと語る。

はつらつとプレーする岩田さんの姿を見て、昨年、弟の龍馬さん(15)もチームに加入した。龍馬さんは健常者で中学校の野球部にも所属している。健常者と障害者のほさまにいる岩田さんは「自分が車いすバスケの魅力を広める懸け橋になる」と意気込む。

交通事故で右足の股関節に入手術を入れているハタチエの山田行広代表(52)は、「活躍の場を広げてあげたい。彼のような存在を受け入れることで、車いすバスケが障害者も健常者も越えた、多くの人のためのスポーツになってほしい」と話している。

クラス分けの目安	
障害の程度	身体の状態
重い	腹筋、背筋が機能せず、支えなしに座った状態でパラバスケをとれない
2.0 ~ 2.5	腹筋、背筋がある程度機能しているが、前傾の姿勢をとることができない
3.0 ~ 3.5	下肢にわずかな筋力があり、深い前傾姿勢から素早く上体を起こすことができる
4.0 ~ 4.5	両手を上げて片方向(「4.5」は両方向)に車いすを傾けることができる
軽い	

日本車いすバスケットボール連盟のウェブサイトを基に作成。実際には障害の状況に応じて多様な視点で決定する。0.5ポイントは各クラスで上位の運動機能がある場合にプラスされる

車いすバスケットボールの出場資格 下肢に「筋力低下」「肢体欠損」など対象となる障害のある人に出場を認めている。各選手は障害の程度に応じて四つのクラスに分けられ「国際参加」、試合中にコート上にいる選手の持ち点の合計が14点を超えてはならない。

日本車いすバスケットボール連盟は、国内大会とは競技人口の拡大を目的に、障害の程度が最も軽い4.5のクラスに、健常者の参加を認めている。欧州などでも健常者の出場を認めてきたが、国際パラリンピック委員会(IPC)は昨年、出場基準の厳格化を国際車いすバスケットボール連盟に要求。同連盟が再審査を行い、複数の選手がパラリンピックへの出場資格を失ったとされる。

局は慣性化しないように注意喚起している。

んだデータを公開する」と脅す「三重恐喝」の手口は

被害  
要求 29件  
喝 27件